

取組の柱②：インド太平洋流の課題対処

事例②③：自由、公正かつ安全なサイバー空間の確保

1. 基本的な考え方

●デジタル経済が浸透する一方、サイバー攻撃、偽情報の拡散等を含むサイバー空間における悪意ある活動が増大し、自由、公正かつ安全なサイバー空間を確保することの重要性はこれまで以上に増している。

●世界人口の半数以上を擁し、世界経済の成長エンジンたるインド太平洋地域のサイバーセキュリティを強化することには、地域の社会・経済活動に不可欠な基盤を提供する意義があり、さらには国際的なサイバーセキュリティ上の弱点を減らし日本を含む世界全体へのリスクを低減させる効果がある。

●インド太平洋を中心に能力構築支援を進めることは、令和3年にサイバーセキュリティ戦略本部において決定済み。

⇒ 政府横断的にサイバーセキュリティ分野の能力構築支援を強化していくことで、インド太平洋の平和と繁栄を確保。

2. 具体的な取組

●国際ルール作り・信頼醸成措置等に関する認識の共有

(例) ARF会期間会合、JICA (課題別研修)、偽情報対策の知見を共有する取組(ワークショップなど)の開催

●重要インフラ防護等支援の継続的な強化

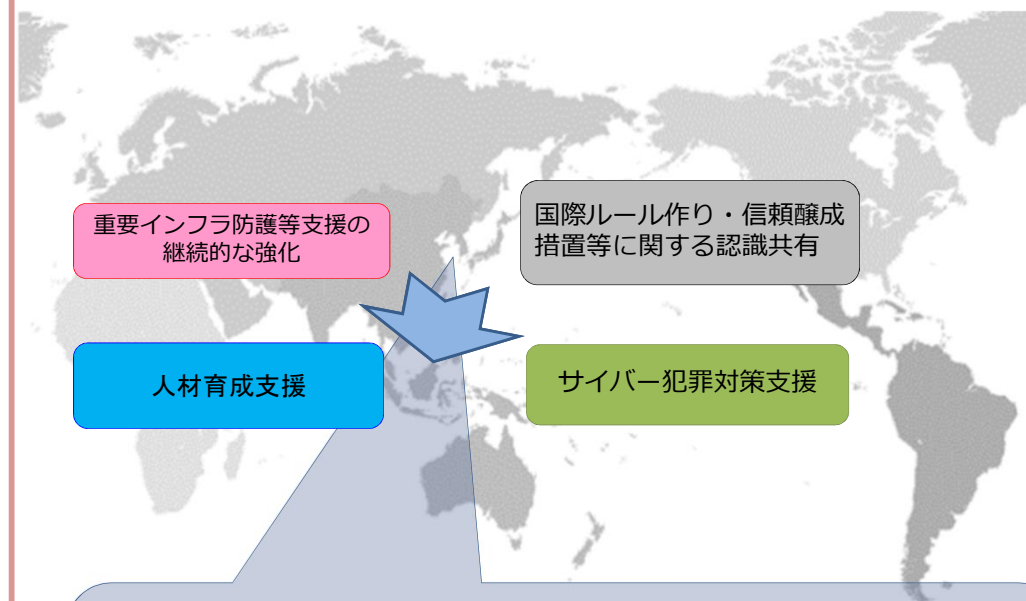
(例) AJCCBC、インド太平洋地域向け産業制御サイバーセキュリティ演習、JICA (技術協力(プロジェクト型)、国別・課題別研修)、各省主管の机上演習事業 等

●サイバー犯罪対策支援

(例) サイバー犯罪対策対話、UNODC、ICPO等を通じた法執行機関等の能力向上支援、刑事司法関連研修、JICA (国別・課題別研修) 等

●人材育成支援

(例) 各省主管の人材育成プログラム、JICA (技術協力(プロジェクト型)、国別・課題別研修) 等



政府横断的にサイバーセキュリティ分野の能力構築支援を強化していくことで、インド太平洋の平和と繁栄を確保。

